

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むぎのこスクール (ライラック)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 13日		~ 2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 2月 13日		~ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障がいの重度、軽度の子どもが一緒のクラスにいて、インクルーシブ教育の実施が行われている。 子ども同士が差別なく、共に育つことが出来ている。	発達に差があるため、活動に工夫を行った。リズム運動や、音楽遊び等では集団で一緒に行い、グループを分けての活動も行った。また、子どもたちが見通しを持てるように構造化を行った。	継続して発達に合わせた活動をグループに分けて行い、リズム運動等一緒に行える活動は構造化のもと行っていく。障害の有無に関わらず、子どもが見通しを持てるように構造化を行っていく。
2	家族支援として、個別面談や学習会、グループカウンセリング、親子発達支援等を行い、保護者の方への困り感に寄り添い、ショートステイやヘルパー等の社会サービスに繋ぐなどの発達支援を行っている。	保護者の方からのニーズには迅速に対応できるようにチームで共有し、ショートステイや相談室等のサービスに繋いでいる。	継続して地域連携や関係機関との連携を行っていく。
3	法人全体で研修体制が充実しており、職員の専門性育成と研修によって職員間で知識を共有でき、発達支援に活かされている。	法人で研修がスケジュール化されており、職員が確実に研修に参加できるように体制を調整されている。	職員から学びたいことをボトムアップでひろっていき、更に職員が前向きに研修に参加できるように充実化を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援でのグループカウンセリング等における、保護者の方の参加が難しいご家庭があり、個別の対応を必要としている。	職員の体制やご家庭のご都合等のすり合わせが難しいことがある。	保護者の方への連絡ツールとしてアプリを活用していく。また、送迎等に直接お会いしてお声がけをしていき、ご参加へ働きかけ、お子様の様子などを共有できるようにしていく。
2	インクルーシブ教育の実施により、子ども同士の間で発達にちがいがあり、活動に工夫が必要。	発達にばらつきがあるため、活動全体の構造化に時間を要した。それにより子どもに見通しを持たせることが難しいことがあった。	法人で培ってきた療育における構造化を踏襲して、子どもたちが見通しを持てるように、また職員が見通しを持てるように、療育の基本となる構造化を行っていく。
3			